

なぜ暴力団に、毎月 100 万円も払い続けたのか？

県議会や市議会に人脈をもつ 暴力団会長の力が必要

だったから

4月30日、大分地裁で河村被告に対する本人尋問が行われました。

報道（『毎日』）によると、「なぜ北野被告に毎月100万円も払い続けたのか」と問われたのに対して、河村被告は「県議会や市議会に人脈をもつ会長の力が必要だったため」と証言しました。

また河村被告は「日立造船が建設中の新炉に移行後も、従業員が引き続き働き続ける環境をつくるため、北野さんへの資金提供を止められなかった」と証言したとのこと。

北野晴彦被告（山口組系暴力団会長）がもっている県議会や市議会への影響力について、実態解明が必要です。

水永の会社を通じて 北野被告に渡していた

河村被告の証言によると……
（浜田市長の古くからの支援者）の水永弘行の会社に対して、実態のない機材リース契約の形で月 230 万円を支払い、税引き後の 200 万円を北野と水永が折半していたということです。

広域議会の「百条委員会」否決も

北野被告の 議会人脈の影響か？

別府市政はじまって以来の不祥事が起こったのに、広域議会が地方自治法百条による調査権の発動を否決したことについて、「なぜか」「北野被告の人脈の影響か」など疑問の声が広がっています。
否決した議員は、反対した理由を市民に説明できるのでしょうか。